

プラン名称:大分コミュニティカレッジ構想 ~若者と高齢者による次世代共創型まちづくり~

チーム名	歌代ゼミ Team Oita	対象地域	大分ステージ
大学名	明治大学	テーマ	A)若者を惹き付ける大分の魅力を活かした「観光まちづくり」。
リーダー名	信田 大志		
指導教員名	歌代 豊		
メンバー名	小林直樹 川上将伍 吉川千咲 園原千晶		

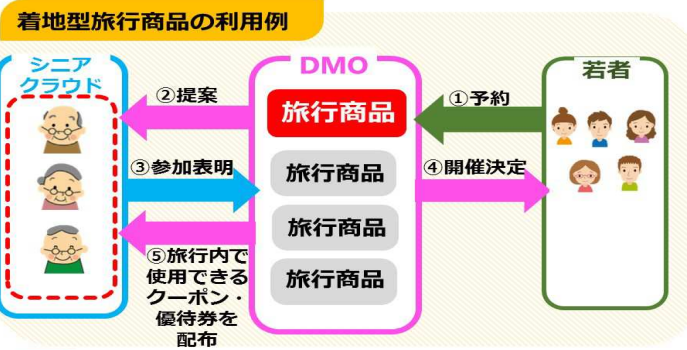
【本選出場】 マイナビ賞 受賞

高齢者に住みやすいまち 大分

※資料を基に作成



着地型旅行商品の開発



具体的プラン例B

【介護・福祉】
授業の一環としてのFSの場合

依頼：福岡医療福祉大学介護福祉学科

授業の一端としてユニバーサルデザインの勉強をしており、高齢者とともに「高齢者と障害者にやさしいまち別府」での現地調査を通じて、これからのユニバーサルデザインのあり方について考えさせたい

予想される団体

- ・神戸医療福祉大学 介護福祉学科
- ・介護福祉士やユニバーサルデザインコーディネーターなどの資格がとれる大学

ワークショップ詳細

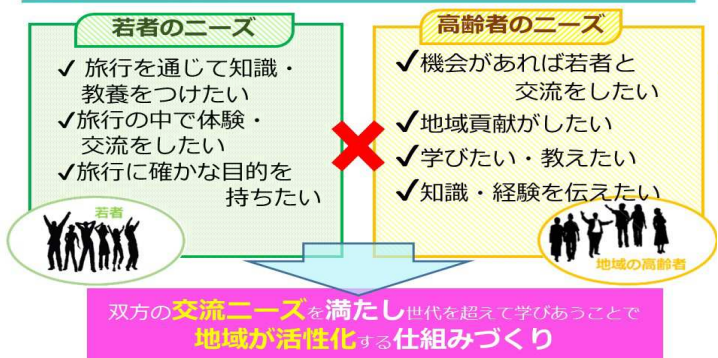
テーマ 『介護推進地域で今後の介護や福祉について考える』

学生は5人1組でチームを作成、案をパワーポイントにまとめて発表する。その後高齢者の方に講評をいただき意見交換をする。

講師シニア 元介護福祉センター勤務Bさん 元医療推進課のRさん

【1日目】	【2日目】	【3日目】	【4日目】
12:00 別府 昼食	9:00 集合 MTG (自己紹介・チーム分け)	9:00 集合	9:00 集合
13:00 介護福祉研修センター見学	11:00 太陽の家見学	10:00 HAL見学	9:30 最終提案発表
15:00 自由時間	13:00 昼食(太陽の家)	12:00 昼食	12:00 昼食
	14:00 障害者スポーツ体験	13:00 介護体験	13:00 講評・表彰
	17:00 ディスカッション	15:00 提案検討	
	18:00 解散	18:00 解散	

若者と高齢者のニーズ



具体的プラン例A

【都市デザイン・街づくり】
個人用商品の場合

参加理由 人生の先輩である高齢者と交流しながら、中世・近世・現代の都市デザイン・建築を散策し、回想したい

予想される若者

- ・歴史的・文化的な街並みや都市デザインに興味がある
- ・現代美術に触れたい

ワークショップ詳細

テーマ 『中世から現代の都市デザインをみて、今後日本でのような街をつくるべきか』

学生は5人1組になってディベート形式で高齢者の方も含めて討論する。その後、講評をいただく。

講師シニア 歴史マニアのFさん 元環境学教授のCさん

9:00 集合・自己紹介
10:15 杵築城下町を探索
12:00 昭和の町で昼食 探索
15:30 大分県立美術館鑑賞 講評と回想
16:30 ディスカッション
18:00 解散

プロモーションの全体概要



全体像とアクションプラン

大分コミュニティカレッジ構想
~若者と高齢者による多世代共創型まちづくり~

ACTIONPLAN

AP1: 個人 高齢者のデータベース作成 ワークショップ企画・運営

AP2: 団体

ターゲット: 個人の大学生 → ツアールのパッケージ商品化で マスマーケットへ販売

ターゲット: 大学学部FS・ゼミ合宿 → ニーズに即したツアーを 地域資源を生かした着地型体験メニューからコーディネート

PROMOTION

①: 各大学学部へ直接営業・パンフレットとチラシ作成・公式WEBサイトの設置・旅行代理店 (JTB) への営業

②: SNSの利用による個人向けプロモーション

コーディネート仕組みづくり



まとめ

若者のニーズ

- ✓ 旅行を通じて知識・教養をつけたい
- ✓ 旅行の中で体験・交流したい
- ✓ 旅行に確かな目的を持ちたい

高齢者のニーズ

- ✓ 機会があれば若者と交流をしたい
- ✓ 地域貢献がしたい
- ✓ 学びたい・教えたい
- ✓ 知識・経験を後世に伝えたい

大分コミュニティカレッジ構想

ACTIONPLAN 1

- ① 高齢者データベースの作成
- ② 多世代交流型旅行商品の開発
- ③ 多世代交流型ワークショップ

ACTIONPLAN 2

団体向けオーダーメイドシステム作成

PROMOTION

若者と高齢者の多世代型観光によって、若者にとっては「高齢者と多様な交流ができるまち」としての高齢者にとっては、「生きがいのあるまち」としての魅力が向上する多世代共創型まちづくりの実現